

令和3年度
予算の概要

多摩市



健幸都市



～分かりやすい予算をめざして～

市ではさまざまな事業を行っています。

事業は計画的に、また、入ってくる収入の範囲内で行う必要があります。その計画書が「予算書」です。

予算は、どのような事業を行うかの計画であり、
また、その資金を調達し、事業計画を実行するために
必要となる経費の支出計画でもあります。

この3つの計画内容を一体として、「歳入」「歳出」という形でお金で表し、
とりまとめたものが予算です。

この冊子は、予算をできるだけ分かりやすくお伝えするために作成しました。

「財政」や「予算」というと、わかりにくいイメージがありますが、少しでも
関心を持って読んでいただければ幸いです。

※ 予算から決算の流れについては、21ページのコラムをご参照ください。

学習に来た「こぐま」です。
いろいろ教えてね。



案内の財政課職員、
多摩の熊「たくま」です。
どうぞよろしく。



毎年、小・中学生のみなさんが、税や予算のことを調べて学習しています。
今日はその代表として、こぐまさんと一緒に学習していきます。

令和3年度の多摩市の予算は

予算編成にあたって

令和3年度は、第五次多摩市総合計画第3期基本計画の折り返しの年度です。市制施行50周年の大きな節目の年であるとともに、延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催、パルテノン多摩の改修工事をはじめ、これからのまちづくりに大きな関わりのある事業を着実に進める年度となります。しかし、新型コロナウイルス感染症はまだまだ収束を見せず、市民生活や経済活動への影響が長期化することが見込まれる一方で、市税等の歳入が、大幅に減少が見込まれ厳しい状況での予算編成となりました。

令和3年度当初予算は、長期化する新型コロナウイルス感染の影響により市税が前年度比15億3千万円 5.3%の減少、国・都税に連動する交付金（新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金除く）が1億2千万円 2.6%の減少と、それぞれ大幅な減収となりました。このような状況下にあっても、市民生活の下支えとアフターコロナを見据えた取り組みを着実に進めるため、以下の通りすべての事務事業を精査（※予算編成にあたっての取組み参照）したほか、基金など特定財源を活用して年間予算を確保しました。

<予算編成にあたっての取組み>

1. 全ての事務事業の見直し、中でも経常経費の精査を次の通り実施しました。
 - ・ これまで定例的に実施してきた事務事業の予算要求を細分化することにより、最低限実施する内容等を見直しを行い、経常経費の削減を行いました。
 - ・ それぞれの事務事業にかかる職員人件費の見える化を行い、休日勤務の振替や夜間業務におけるズレ勤の徹底など働き方の見直しを行うとともに、業務内容そのものを見直すことにより職員人件費（時間外手当）の削減を行いました。
2. 普通建設事業については、実施時期の見直しによりいくつかの工事の時期を先送りしました。また、既に動き出しているパルテノン多摩の改修工事や中央図書館の建設工事等は都市計画税を財源として活用し、計画に即して実施します。

令和3年度当初予算一般会計予算630億3千万円（前年度比6.7%増）、3つの特別会計を合わせた総予算934億6千万円（4.5%増）となりました。

新型コロナウイルスの影響はまだまだ収束を見せず、市民生活や経済活動への影響の長期化が懸念される状況にあるため、令和3年度においても機動的に適時適切な補正予算を編成し、コロナウイルスへの対応をはじめとした情勢変化に対応していきます。

第1章 市民の予算

「予算」ってわかりにくい？ 多摩市ってどんなことにお金を使ってるの？
財政状況はどうなっているの？ 他の自治体と比べるとどうなの？
第1章では、そのような視点から、やさしく令和3年度予算について解説します。

使い方から見てみよう（歳出）

1 多摩市はこんなまち ~納めていただいた税金の使いみち~	7
2 第五次多摩市総合計画第3期基本計画の3つの重点課題に対する取組	10
3 市民1人当たりのサービスは？ ~ひとり42万5千円 その内容~	11
4 市民1人当たりの税金の使い道は？ ~ひとり18万4千円 その使い道~	12
〔コラム〕寄附金による市民協働	13

使う予算の資金はどこからくるの（歳入）

収入の状況	14
-------	----

予算の移り変わりとは多摩市の状況

1 貯金の状況	15
〔コラム〕財政調整基金と決算剰余金	15
2 借金と分割払いの現在高	16
3 財政の硬直化 ~ケイジョウシュウシヒリツって？~	17
4 収入に占める借入金の割合 ~コウサイヒフタンヒリツって？~	18
5 社会保障関係予算 ~市民の生活を保障する予算は~	19

第2章 令和3年度予算の全体像（資料編）

令和3年度の多摩市の予算の特徴、過去との比較など、専門的なことも含め、詳しいグラフや表などによる予算資料です。

会計別予算について

	21
〔コラム〕予算と決算について	21

一般会計予算について

款別予算額【歳入】	23
都市計画税の収入見込額と充当事業、基金積立の状況	27

東日本大震災を踏まえた市民税均等割引上げの収入見込額と充当事業	28
---------------------------------	----

引上げ分の地方消費税交付金が充てられる社会保障 4 経費その他社会保障施策に要する経費

-----	29
〔コラム〕森林環境譲与税のつかいみち	30
款別予算額【歳出】	31
性質別予算額【歳出】	36
性質別予算額 3ケ年の変化	39
款別（目的別）予算額 3ケ年の変化	39
市税収入と義務的経費、投資的経費の推移	40
經常収支比率	41
基金の状況	42
地方債・債務負担行為の状況	43

新規・レベルアップや普通建設事業などの概要

02 総務費	44
03 民生費	45
04 衛生費	45
05 労働費	45
06 農林業費	46
07 商工費	46
08 土木費	46
09 消防費	46
10 教育費	46
特別会計	47
令和 2 年度予算から引き続いて実施する取り組みの概要	47
【参考】令和 3 年度第一号補正予算の主な事業	47

特別会計・公営企業会計

国民健康保険特別会計	49
介護保険特別会計	50
後期高齢者医療特別会計	50
下水道事業会計	51

その他

新たな支え合いの仕組みづくり	52
支え合いによる主な事業と事業費 ～令和 3 年度の取り組み～	53
令和 3 年度協働指定委託事業一覧（当初予算）	54
令和 3 年度予算編成方針（通達）	56

第1章 市民の予算

「予算」ってわかりにくい？ 多摩市ってどんなことにお金を使ってるの？

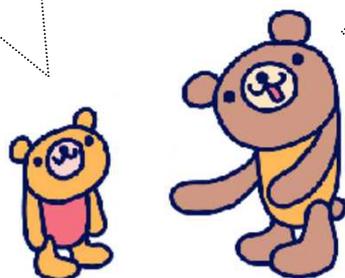
財政状況はどうなっているの？

第1章では、そのような視点から、やさしく令和3年度予算について解説します。

まちづくりは、市の予算だけでしているのではないよね。

ぼくのおかあさんは、地域の子どもサッカーのコーチをしているよ。
強いんだよ。

ぼくも高校生のおねえちゃんも、
まちのおまつりを手伝って小さい子の世話をしてるんだよ！



そのとおりですね。

ただ、予算は、
「みんなが出し合った大事なお金を、
こんなまちにするために使いたい」
という願いが込められています。

予算から市を知るのもやっぱり大切ですね。

I 使い方から見てみよう（歳出）

1 多摩市はこんなまち ～納めていただいた税金の使いみち～

「どんな分野にどう予算が使われているか」が分かれば、多摩市がどんなまちか、見えてきます。ここでは、各分野の取り組みについて、どのような予算が編成されたのかみてみましょう。

子ども青少年

114億2,341万円

- ・待機児童対策として、令和3年4月に永山駅周辺エリアに60名定員の認可保育所を、多摩センター駅周辺エリアに65名定員拡大の上、認可保育所を移転・開設するとともに、12名定員の小規模保育所を開設する。〔2億5,128万円〕
- ・業務の効率化、処理時間の圧縮のため認可保育所等の入所選考におけるAIシステムを導入する。〔396万円〕
- ・保育人材と質の確保のため全国共通の資格を取得できる子育て支援員研修の研修修了者に対するバックアップ研修を実施する。〔92万円〕
- ・学童クラブにおける医療的ケア児のための訪問看護派遣業務委託料を計上する。〔198万円〕



健康福祉

170億4,338万円

- ・令和2年7月より引き続き、生活困窮者自立相談支援の相談員を一名増員し、離職や休業による減収等の相談支援に対応する。〔660万円〕
- ・ウィズコロナ・ポストコロナの新しい健幸な働き方を市と地元企業、団体等と作っていく「健幸！ワーク宣言」を実施する。〔21万円〕
- ・在宅で医療的ケアを必要とされる重症心身障がい児（者）などに対し、訪問看護師が自宅に出向いて一定時間ケアを代替し、家族の休養を図る重症心身障がい児（者）等在宅レスパイト事業を開始する。〔116万円〕
- ・令和2年度に引き続き出産・子育ての支援として以下の事業を実施する。〔3,154万円〕
 - ・育児の応援を目的に、1歳児のいるご家庭を対象としたアンケートの実施。（アンケート回答者へ「はっぴーギフト（こども商品券）」をプレゼント）
 - ・多胎児家庭に対して、乳幼児健診や予防接種や交流会等を利用するために必要な交通料金を助成（交通系ICカードの配布）。
 - ・母子健康手帳の交付をうけた妊婦の方へ出産・子育ての準備ができるよう保健師による面接の実施。（面接を受けた方には、「ゆりかごTAMA応援ギフト」をプレゼント）
- ・新型コロナウイルス感染者が発生した場合、保健所から濃厚接触者と判定された方以外の方も、市独自で検査することができる体制を確保する。〔500万円〕

文化・スポーツ

95億6,290万円

- ・令和2年7月に着工した複合文化施設等大規模改修工事について、令和4年3月のプレオープンを目指し引き続き工事を行う。(継続費:令和1~3年度)〔67億2,730万円〕
- ・令和4年度中の開館を目指し鶴牧・落合・南野コミュニティセンターを改修する。(継続費:令和3~4年度)。(3億8,373万円)
- ・令和4年度中の開館を目指し連光寺複合施設を改修する。(継続費:令和3~4年度)〔2億108万円〕
- ・令和4年4月の開館を目指し旧北貝取小学校跡地に「市民活動・交流センター」と「多摩ふるさと資料館」を整備する。(2年目)(継続費:令和2~3年度)〔7億5,878万円〕
- ・オリンピック・パラリンピック選手団の事前キャンプ等の受入(新型コロナウイルス感染症対策の実施の上)及びアイスランド共和国とのホストタウン登録に関連する事業の実施。聖火リレーや自転車競技ロードレース、コミュニティライブサイトや多摩市ゆかりの選手応援事業等を行う。〔1億2,480万円〕

環境

38億7,234万円

- ・令和2年6月に行った気候非常事態宣言に掲げた、CO₂の削減、使い捨てプラスチックの削減、生物多様性の保全の取り組みを進める。〔117万円〕
- ・資源化センターの古紙プラント設備の更新工事を行う。〔2億6,389万円〕



まちづくり

17億7,740万円

- ・多摩中央公園の改修をPark-PFI手法により行うため、事業者を選定する。連光寺・若葉台里山保全地域拡張区域用地、大栗橋公園用地を取得する。耐用年数を迎えた公園遊具を更新する。〔5億7,233万円〕

防犯・防災

17億6,896万円

- ・一昨年の台風19号での教訓やコロナ禍での避難所運営のあり方も見直すことから、総合防災訓練に水害による避難を想定した要素を取り入れる。〔275万円〕
- ・水防訓練で防災関係機関の連携を確認するとともに、浸水想定区域内の住民を対象とした避難訓練等を実施する。〔177万円〕

教育

53億746万円

・専科教員の配置のない小学校の水泳授業について、天候に左右されない温水プール（公営・民間）を活用し、専門指導者と教員とが協力して行う水泳指導の実施に向けた試行を実施する。〔757万円〕

・中央図書館の建設工事（継続費:令和2～4年度）に着手する。
また、建設工事に伴い伐採する多摩中央公園の樹木を有効的に活用し、健全な森林整備の学びを深めるため、体験型ワークショップ等を行う。
〔8億5,789万円〕



その他

・総合計画第3期基本計画の重点課題である、市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくりの取り組みとして、「（仮称）地域委員会構想」の検討を進めるための経費を計上する。令和3年度は4エリアでアンケートやワークショップ開催等の試行を行い、制度検討を実施する。〔205万円〕

・本年に迎える市制施行50周年を記念して、市民や関係団体等との連携事業を実施する。市民事業として多くの市民の声を集めた企画事業の実施等を行う。また市主催の事業としては50周年のPRのためのグッズ作成、市制10周年で埋設したタイムカプセルの発掘、記念誌の刊行等を行う。〔1,019万円〕

・新型コロナウイルス感染症対策及び居住地と勤務地の両方で働く新たなライフスタイルの開拓支援策として、市内に新たにサテライトオフィスを設置する事業者に対して、整備・改修費用の一部を補助する。〔900万円〕

・新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度に実施した事業者グループ連携支援事業補助金について、経済の回復・向上を目的とし令和3年度も引き続き実施する。〔1,000万円〕

令和2年度予算から引き続いて実施する取り組みの概要

・アフターコロナに向けた働き方改革のため、庁内無線LAN環境構築とテレワーク環境構築を行う。〔2億4,200万円〕

・避難所の混雑状況を緩和するため、市民が安全に「在宅避難」を行うことができるよう、家具転倒防止器具の購入・設置の難しい市民税が非課税の後期高齢者のみの世帯に器具の助成・設置を行う〔5,754万円〕

2 【第五次多摩市総合計画第3期基本計画の3つの重点課題に対する取組】

令和3年度は、第五次多摩市総合計画第3期基本計画の3年目となります。基本計画の基盤となる考え方である「健幸まちづくりのさらなる推進」の具体的な取組をはじめ、基本構想に定めた「目指すまちの姿」の実現に向け、各分野の政策・施策に取り組みます。

また、持続可能な行財政運営の確立に向けた取組を推進するとともに、今後数年間はまちの姿が大きく変わっていくことが想定されることから、未来への投資として新たな時代に向けた価値の創造を図ります。

▲令和3年度に取り組む「3つの重点課題」に対する取組の具体例の一部を紹介します▼

① 超高齢社会への挑戦

元気な高齢者がいきいきと活躍できる地域社会をつくっていくとともに、介護予防やフレイル（虚弱）予防をはじめとした健康づくりに、安心して暮らし続けられる住まいや身近な居場所づくりなど、ソフト・ハード部門にまたがり、健幸を支える環境整備に取り組みます。

★★★こんな取組を行います！★★★

- ◎高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けて、保健師・管理栄養士等の地域のサロンへの派遣や医療費分析、重複頻回受診・重複服薬等指導を行います
- ◎成年後見制度の啓発や関係機関とのネットワーク構築を進めるため、多摩市社会福祉協議会権利擁護センターの人員を増員します 他

② 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるまちの基盤づくり

子育て環境の整備や教育環境の充実を図り、若者世代・子育て世代にとって魅力あるまちづくりを進めます。また、行政・地域での様々な支援策が充実していることを発信するとともに、子どもたち・若者たちに必要な支援体制を構築していきます。

★★★こんな取組を行います！★★★

- ◎駅周辺エリアに認可保育所を開設することで定員の拡大を図り、保育所の待機児童対策を行います
- ◎駅周辺拠点地区の活性化の取組として、多摩センター駅周辺地区では、多摩中央公園、公園内施設が連携し、まちのにぎわいを創出していくしくみの構築に向けて検討を進めます。聖蹟桜ヶ丘駅周辺地区では、駅近接にある河川空間を有効資源として活用する「かわまちづくり」に引き続き取り組み、街のにぎわいや魅力、回遊性の向上に向け、市民や市民団体、民間事業者との協働を進めます 他

③ 市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくり

これまで地域を支えてきた世代に加え、現役世代を含めた幅広い世代に、地域の支えとなり、行政に参画してもらえるよう地域を単位とした協働のしくみづくりにより、市民・地域と行政が連携し、大学や企業など様々な地域資源を活用しながら、地域が抱える課題解決を図るしくみをつくります。

★★★こんな取組を行います！★★★

- ◎地域共生社会の実現に向けて、令和2年度から行っているモデルエリアでの試行を、令和3年度は4エリアに拡大し、市民・地域と行政との新たな協働のしくみづくりに向けた制度検討を行います
- ◎令和2年7月に施行した「多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例」について、条例の内容を踏まえた「心つなぐ・はんどびっく」の作成、配布などを通して、広く周知を図っていきます 他

3 市民1人当たりのサービスは？ ～ひとり42万5千円 その内容～

一般会計予算630億3,000万円を令和3年1月1日現在の住民基本台帳の人口148,479人で割りました。平均すると、市民1人当たり42万5千円のサービスを受けていることになります。その内訳を示します。

()内は前年度の金額です

<p>民生費 (高齢者・障がい者・児童福祉、生活保護のために)</p>  <p>19万円 (19万2千円) ↓</p>	<p>総務費 (コミュニティセンターの管理運営、交通対策、情報推進のために)</p>  <p>9万2千円 (5万6千円) ↗</p>
<p>教育費 (学校教育・生涯学習のために)</p>  <p>6万1千円 (6万3千円) ↓</p>	<p>衛生費 (ごみの処理、環境保全、健康を守るために)</p>  <p>2万8千円 (2万8千円) →</p>
<p>土木費 (道路・公園整備のために)</p>  <p>2万3千円 (2万4千円) ↓</p>	<p>公債費 (市の借入金の返済のために)</p>  <p>1万3千円 (1万4千円) ↓</p>
<p>消防費 (消防・防災のために)</p>  <p>1万2千円 (1万5千円) ↓</p>	<p>その他 (議会活動や商業の振興などのために)</p>  <p>6千円 (5千円) ↗</p>

※ 教育、消防など、使う目的ごとの分け方を「目的別」、「款(かん)別」と言います。

⇒詳しくは、31ページ「款別予算額【歳出】」、44ページ「新規・レベルアップや普通建設事業などの概要」を参照してください。

4 市民1人当たりの税金の使い道は？ ～ひとり18万4千円 その使い道～

市税（予算額）273億3,069万円を令和3年1月1日現在の住民基本台帳の人口148,479人で割りました。平均すると、赤ちゃんも含めて市民1人当たり18万4千円の市税（法人市民税等も含む）を払っていることとなります。その使い道を示します。

（ ）内は前年度の金額です

<p>民生費 (高齢者・障がい者・児童福祉、生活保護のために)</p>  <p>7万円 (7万1千円) ↘</p>	<p>教育費 (学校教育・生涯学習のために)</p>  <p>3万2千円 (3万3千円) ↘</p>
<p>総務費 (コミュニティセンターの管理運営、交通対策、情報推進のために)</p>  <p>3万2千円 (3万3千円) ↘</p>	<p>衛生費 (ごみの処理、環境保全、健康を守るために)</p>  <p>1万6千円 (1万8千円) ↘</p>
<p>土木費 (道路・公園整備のために)</p>  <p>1万3千円 (1万6千円) ↘</p>	<p>公債費 (市の借入金の返済のために)</p>  <p>1万円 (1万1千円) ↘</p>
<p>消防費 (消防・防災のために)</p>  <p>7千円 (8千円) ↘</p>	<p>その他 (議会活動や商業の振興などのために)</p>  <p>4千円 (4千円) →</p>

民生費は、前のページのサービスのお金では全体の50%くらいだけど、このページの税金では40%くらいだね。



それは、国や都からのお金の割合が高いからです。一方、総務費や公債費などはこの税金のページの方が割合が高く、多摩市が単独で多く負担をしているものです。

〔コラム〕 寄附金による市民協働

多摩市では、「多摩市を応援したい!」という想いを「ふるさとTAMA応援寄附金」という形で広く受け付けています。平成29年6月からふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」からも寄附ができるようになりました。

令和2年度も多くの皆様から寄附をいただき、その合計額は16,244,146円（令和2年12月末時点）となりました。今年度から指定寄附金について2つのメニュー（幼児教育・保育環境の充実、不登校や特別な支援が必要な児童・生徒の教育環境の充実）を新たに追加しました。また、新型コロナウイルス感染症対策に役立てるために新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金も創設しました。

子どもたちのワクチン接種、癌検診の充実、新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金は令和2年度、そのほかの寄附金は令和3年度以降の事業で活用させていただきます。

令和2年(4月から12月)に頂いた寄附金の金額及び使途

単位：円

寄附種類	金額	使途
一般寄附金	2,294,000	表1参照
指定寄附金	205,000	歩きやすい街づくりのための設備（ベンチ等）の充実
	70,000	市内文化財めぐりコースの環境整備
	900,000	幼児教育・保育環境の充実
	290,000	不登校や特別な支援が必要な児童・生徒の教育環境の充実
	135,000	地域子育て支援拠点等の充実
	30,000	多摩市立図書館の児童向け図書の充実
	310,000	公園遊具のリニューアル
	45,000	小・中学校の音楽関係の備品（楽器等）の充実
	350,000	来街につながる地域の活性化や観光振興
	257,000	地域スポーツ環境の充実
	325,000	多摩センター駅周辺地区の魅力アップにつながる環境整備
	261,744	地域防災活動の支援
	1,200,000	癌検診の充実
	530,000	子どもたちのワクチン接種
	121,415	多摩市立中央図書館整備事業
	160,000	特別支援学級への支援（児童手当寄附分）
	8,759,987	新型コロナ感染症対策（多摩市新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金分）
指定寄附金 計	13,950,146	
合計	16,244,146	

単位：円

表1 一般寄附金の使途

使途	金額
地域や社会での学び、健康の推進、安全安心な環境の向上、まちの魅力づくり、国際交流、市民参画、市民協働等互いに支え合うまちをつくるための事業	115,000
高齢者、障がい者、児童等の福祉に関する事業	225,000
豊かな緑を大切にし、将来にわたって残すための事業	240,000
公共建築物、道路、橋りょう等の施設を整備し、適切な状態に保つための事業	175,000
指定なし	1,539,000
合計	2,294,000

～ 寄附の活用例 ～

多摩市立図書館の児童向け図書の充実



公園遊具のリニューアル



○児童向け図書の購入（令和3年度活用予定）
※おはなし会等で活用されます（写真はイメージ）

○公園遊具のリニューアル（令和3年度活用予定）
※公園遊具のリニューアルを行います（写真はイメージ）

地域防災活動の支援



○マンホールトイレの購入（令和3年度活用予定）

※マンホールトイレは下水道管路にあるマンホールの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものです。

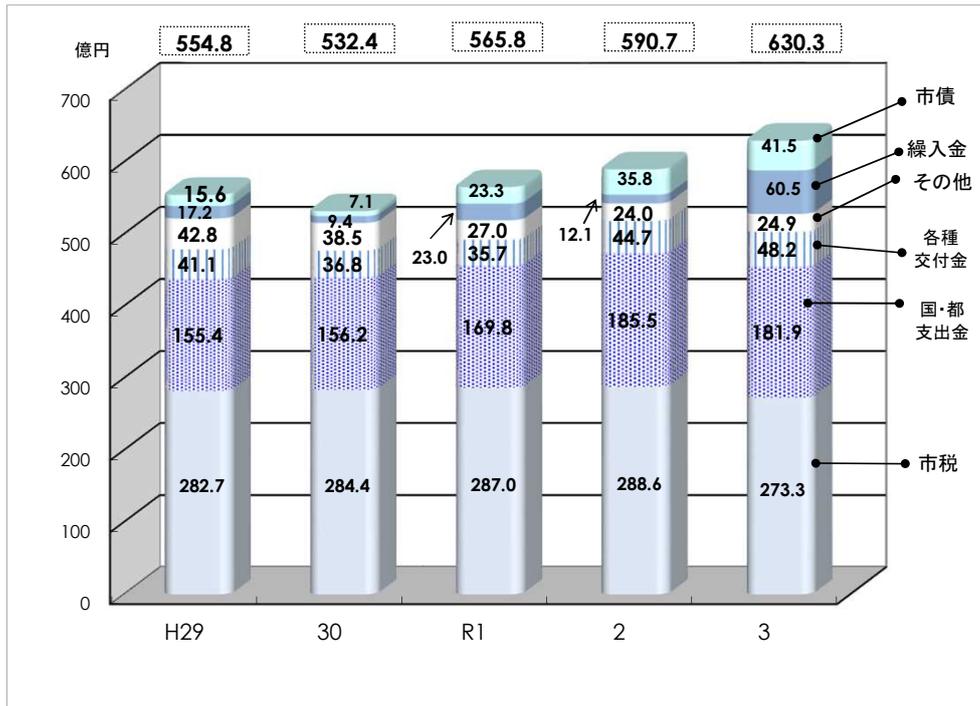
Ⅱ 使う予算の資金はどこからくるの（歳入）

収入の状況

前年度と比較して6.7%、39億6,000万円の増となりました。

一般財源（用途の特定されない財源）は、令和2年度予算と比べて7億2,380万円の減となっています。財政調整基金からの取り崩しの増（53.9%、4億8,000万円の増）、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補てん特別交付金（4億6,879万円の皆増）などの増要因がある一方、市税の大幅な減（5.3%、15億2,888万円の減）などの減要因が上回ったためです。なお、市税の減は個人、法人、固定資産税等全体的に減少したことによるものです。

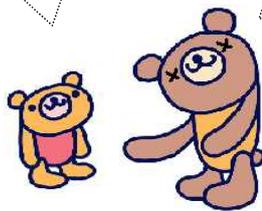
■歳入構成の変化



各種交付金＝ 地方譲与税＋利子割交付金＋配当割交付金＋株式等譲渡所得割交付金＋地方消費税交付金＋ゴルフ場利用税交付金＋自動車取得税交付金（令和元年度まで）＋環境性能割交付金（令和元年度から）＋国有提供施設等所在市町村助成交付金＋地方特例交付金＋地方交付税＋交通安全対策特別交付金＋法人事業税交付金（令和2年度から）

その他＝ 分担金及び負担金＋使用料及び手数料＋財産収入＋寄附金＋繰越金＋諸収入

市税がへったのに、
全体的にはふえてるよね。



市税がへったから全体もへるかというそうでもないんだ。収入がへってもやらなければならないこと（歳出）がふえると、財源の不足をおぎなうために貯金（繰入金）をとりすぎたり、ローン（市債）を組んだりするんだ。
そうすると歳出の増加にともなって歳入の全体も増加するんだよ。

貯金も元は市民の方が納めた税金だから、大事につかっていくのはもちろん、
今後もおかねのつかい方（歳出の工夫）を見直すことや、新たなおかねの確保（歳入面での工夫）に厳しくとくまなきやいけいなんだ。

※ 市に入る収入について、年度単位でみる場合は「歳入」と表現しています。
⇒詳しくは、23ページ「款別予算額【歳入】」を参照してください。

Ⅲ 予算の移り変わりと多摩市の状況

1 貯金の状況

基金は、特定の目的のために準備された資金のことです。
目的に応じて積み立てておき、必要になったら取り崩してそれぞれの目的のために使われます。

▼貯金の状況

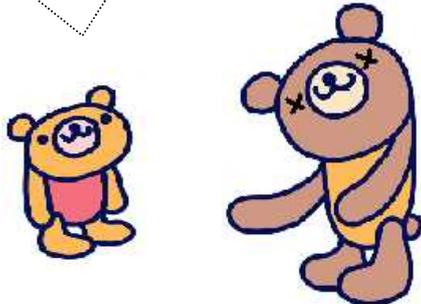
区 分	令和元年度末 残 高	令和2年度末 残高見込み ①	令和3年度 取崩し ②	令和3年度 積立金 ③	令和3年度末 残高見込み ①-②+③
財政調整基金	35億5,700万円	38億200万円	13億7,000万円	100万円	24億3,300万円
特定目的基金	151億4,100万円	154億4,900万円	46億8,100万円	7,500万円	108億4,300万円
合 計	186億9,800万円	192億5,100万円	60億5,100万円	7,600万円	132億7,600万円

※令和2年度末及び令和3年度末の残高見込みの金額は、令和3年2月現在の数値です。

※10万円単位で四捨五入しています。合計額と区分ごとの合計は一致しないことがあります。

- 財政調整基金 年度間の財源の不均衡の調整や災害復旧などにあてるための基金です。経済情勢の変動や突発的な事項等により財源が著しく不足する場合に、貯金をおろし不足を補うことを目的とする基金で、いわば普通預金のようなものです。
- 特定目的基金 庁舎増改築基金、公共建築物等整備保全基金など事業実施に向けた計画的な積み立てや、継続的な事業を将来にわたり安定的に進めるための基金です。

多摩市の貯金はほかの市と比べたら
どうなの？



令和元年度決算時点の貯金残高(市民1人当たり)は、都内
26市で多い方から5番目の125,636円です。

市の予算の約半分が福祉関係経費(民生費)であり、令和2
年度も扶助費や繰出金が増加しています。

「財政調整基金」など、過去に貯めておいた貯金を取り崩し
て、行政が担うべき基本的な業務やセーフティーネットをしっ
かりと維持するために貯金を活用しています。
貯金をしっかり貯めておくことも、市民の皆さんにとって大事
なことなのです。

【コラム】財政調整基金と決算剰余金

財政調整基金は年度間の財源を調整し、長期的視点から財政の健全な運営を図ることを目的としている基金です。本市では標準財政規模(地方税、普通交付税、地方譲与税などの一般財源の財政規模を示すもの)の1割程度を確保することを目標としています。令和2年度の残高見込みは、3,801,629千円で前年に引き続き前述の目標額(標準財政規模31,128,105千円の1割)を達成する見込みです。

地方財政法では、決算剰余金を生じたときその2分の1以上を基金に積み立てるものと規定されており、積み立て先の基金はその性質上、財政調整基金とすることが一般的です。

※決算剰余金: 決算時に、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支の黒字額のこと。一般的には概ね標準財政規模の3%から5%程度が適当であるとされています。令和元年度決算額でみると、実質収支1,292,548千円は、標準財政規模(30,994,502千円)比で4.2%となりました。

⇒多摩市の基金について、詳しくは42ページ「基金の状況」を参照してください。

2 借金と分割払いの現在高

「地方債」は市の借金、「債務負担行為」は分割払いに例えられます。
 いったん借りてから返すか、先々に支払う約束をするか、の違いはありますが、どちらも「将来の負担」という意味では同じといえます。

地方債（借金）

学校、公園など、公共施設やインフラの整備の際などに発行します。
 大規模な建設事業が多かった過去の借入分（設定分）の償還が進み、残高総額が減り続けていきましたが、近年は大型施設の建設や改修工事が増えたため令和2年度から微増に転じ、令和3年度以降もしばらくは増加傾向に向かいます。

債務負担行為（分割払い）

債務負担行為は、契約に基づき、複数年度に渡る支出が予定されるときに設定します。
 学校などの施設や土地の支払いを分割で行うとき、また、機器のリースなど何年か使用するものをその期間中に分割して支払う場合などに行います。

▼借金と分割払いの状況

地方債 (借金)	令和元年度末 現在高	令和2年度末 現在高見込額	令和3年度増減見込額		令和3年度末 現在高見込額
			新規借入見込額 (増)	元金償還見込額 (減)	
	140億7,900万円	141億1,100万円	41億4,700万円	18億7,200万円	163億8,600万円
債務負担行為 (分割払い)	令和元年度末 現在高	令和2年度末 現在高見込額	令和3年度増減見込額		令和3年度末 現在高見込額
			設定見込額	支払見込額	
	108億4,600万円	82億4,100万円	16億4,500万円	33億9,000万円	64億9,500万円
合計	249億2,500万円	223億5,200万円	57億9,200万円	52億6,200万円	228億8,100万円

※10万円単位で四捨五入しています。令和2年度末現在高見込額と令和3年度増減見込額の合計が令和3年度末現在高見込額に一致しないことがあります。

借金なんて、ぜんぜんない方がいいよね！



うーん、「ぜんぜんない方がいい」というと、そうともいえませんよ。例えば、学校を建てるのが必要となった時、お金を貯めてから建てるですと、すぐにはできないよね。また、今建てた学校はこれから先の、こぐま君たちの子どももきっと使いますよね。そういう、必要で大切な施設には、今のおとなたちも、君たちがおとなになったときも、みんなでお金を出し合うべきだという考え方があります。

これを難しい言葉で、「世代間の公平負担」と言い、今年もそういった施設の大きがかりな改修等に必要な分の借金をしています。でも、今のおとなたちが借金をしすぎて、こぐま君たちがおとなになったとき、借金を返すのでいっぱいいっぱいになってしまったら、不公平ですよ。借金が増えすぎないように気をつけているんですよ。

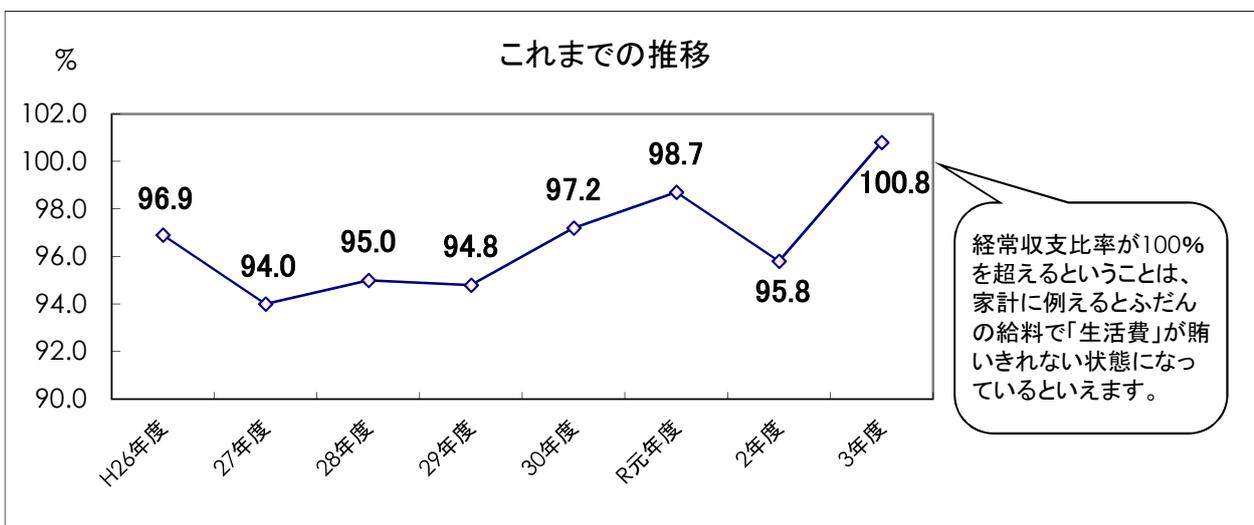
⇒多摩市の地方債、債務負担行為について、詳しくは43ページ「地方債・債務負担行為の状況」を参照してください。

3 財政の硬直化 ～ケイジョウシュウシヒリツって？～

経常収支比率は100.8%、財政は硬直的な状態に

市の予算の中で、経常的な収入に対する経常経費（職員の人件費、生活保護費のような扶助費、借入金を計画的に返済する公債費、児童館やコミュニティセンターなどの管理運営費、道路や公園などの維持費など、毎年継続して固定的に支出される経費）の割合を、「経常収支比率（ケイジョウシュウシヒリツ）」と呼びます。自治体の財政状況を示す「財政指標」のひとつで、財政構造の弾力性を計ることができます。

経常収支比率は指数が低いほど、政策的な経費に市税などを使うことができ、新たな財政需要に対応できる幅が広がります。逆に、この割合が高ければ、時代の変化などの新しい状況に弾力的に対応できません。家計に例えるなら「住宅ローンや光熱水費で身動きができない」状態です。このような自治体を「財政が硬直化している」自治体と呼びます。今回、経常収支比率が100%を超えてしまったことは、新型コロナウイルス感染症の影響により、市税をはじめとした歳入の急激な減少によるものであり、新型コロナウイルス感染症の影響が収束すれば一定程度の回復は見込まれます。



令和3年度は上がっているね。



そうですね。

経常収支比率が100%を超えるということは、経常的な収入で経常的な支出が賄えていないことになります。

令和3年度は新型コロナウイルスの影響もあり歳入が急激に減少したことが主な要因です。新型コロナウイルス感染症の影響が収束すれば一定程度の回復は見込まれますが、今後少子高齢化等により扶助費などの経常的な経費が増えると予想されています。持続可能な財政構造の構築、維持を図るため、事業の根本的な見直しやICTの活用による業務効率化の推進など、経常経費削減に向けた取り組みは毎年行っていて、今回も経常経費に充てる一般財源は前年度より減っています。引き続き、皆で出来ることを頑張っていきましょう。学校や公園なども大切にしてくださいね。

⇒多摩市の経常収支比率について、詳しくは41ページ「経常収支比率」を参照してください。

4 収入に占める借入金の割合 ～コウサイヒフタンヒリツって?～

市の予算の一般財源に占める公債費（借入金の返済）の割合を公債費負担比率（コウサイヒフタンヒリツ）と呼びます。自治体の財政状況を示す「財政指標」のひとつです。

公債費負担比率

令和3年度の公債費負担比率は5.3%で、前年度に比べて0.1ポイント減少しました。これは、一般財源総額が減ったものの、公債費も減少したためです。公債費は、過去の借入の償還が進んでいること、令和2年度に実施する予定だった事業が行えず借入額が減ったことの2つの要因により減少しました。

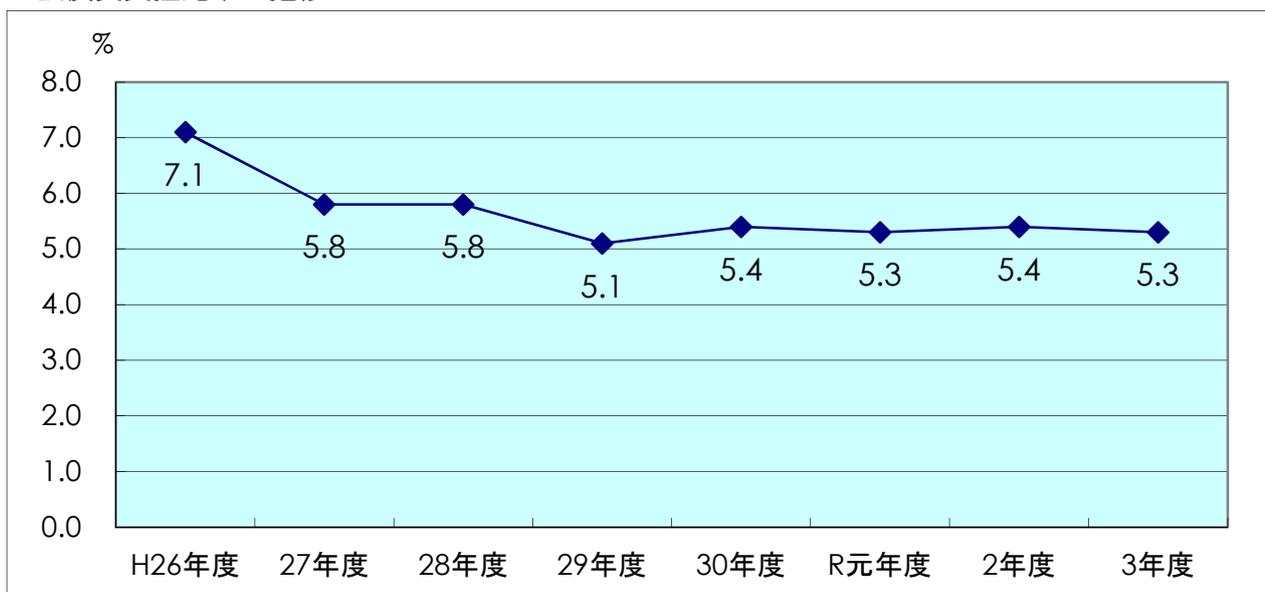
今後は、パルテノン多摩や多摩市立中央図書館などの大規模事業、施設の長寿命化改修の実施などにより借入額が増加するため、公債費負担比率は上昇する見込みですが、全国的に見ると、まだ低い水準で推移すると見込んでいます。

公債費負担比率は、一般的に15%を超えると黄信号、20%を超えると赤信号とされています。

【計算式】

$$\begin{array}{l} \text{公債費負担比率} \\ 5.3\% \end{array} = \frac{\text{公債費充当一般財源 (1,821,883千円)}}{\text{一般財源総額 (34,519,717千円)}} \times 100$$

▼公債費負担比率の推移



最近はあまり変わらないね。



そうですね。
こぐま君たちが生まれる前、多摩ニュータウンの整備がまだ続いている頃、お金をたくさん借りたんですよ。少しずつ返してきて、その分はかなり減ってきているんです。

でも、今度は古くなってきた建物や道路・橋などを改修するためのお金が必要になってきたんですよ。

これからは、この数字が大きくなりすぎないように計画的にお金を借りることが大事になってきます。

5 社会保障関係予算 ～市民の生活を保障する予算は～

主な社会保障にかかる経費は、下表のとおりです。

障害福祉サービス費の増加により障害福祉費が増加、介護保険・後期高齢者医療の各特別会計への繰出金の増に伴い高齢者福祉が増加、保育所等の開設により児童福祉も増加しており、全体で増加しています。

限りある財源の中で市民の暮らしを守るため、真に必要とされるサービスを確実に提供するとともに、健康づくりや就労支援などに取り組み、今後とも社会保障制度が適正に維持できるよう努めていきます。新規・レベルアップや普通建設事業などの概要については、44ページ以降をご覧ください。

区分		令和3年度	令和2年度	増減額	増減率 (%)
特別会計への繰出金	国民健康保険特別会計	19億5,500万円	17億5,700万円	1億9,800万円	11.3
	介護保険特別会計*	(18億4,800万円)	(18億1,800万円)	(3,000万円)	1.7
	後期高齢者医療特別会計*	(18億8,200万円)	(17億8,200万円)	(1億円)	5.6
障がい者福祉に係る予算		50億8,100万円	49億8,300万円	9,800万円	2.0
高齢者福祉に係る予算		39億5,500万円	38億4,900万円	1億600万円	2.8
児童福祉に係る予算		112億9,600万円	112億7,000万円	2,600万円	0.2
生活保護に係る予算		46億4,400万円	47億1,600万円	△7,200万円	△1.5
合計		284億6,400万円	265億7,500万円	18億8,900万円	7.1

※普通建設事業費を除く

※特別会計への繰出金で、()内に示している介護保険・後期高齢者医療の各特別会計への繰出金の予算額は、高齢者福祉に係る予算に含めています。

※区分ごとに10万円単位で四捨五入しています。合計額は四捨五入した区分ごとの積み上げです。

国民健康保険特別会計への繰出金

財政健全化計画に基づき法定外繰出金の削減を進めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化や加入者の所得状況などにより、令和3年度は繰出金が増加しています。

介護保険特別会計への繰出金

高齢化の進行により要支援・要介護認定者が増加することで、保険給付費の増加が見込まれているほか、公費による低所得者の保険料軽減の更なる拡大の影響から繰出金が増加しています。

後期高齢者医療特別会計への繰出金

高齢化の進行により、被保険者数及び医療費が増えることから、東京都後期高齢者医療広域連合への負担金が増加し、繰出金が増加しています。

障がい者福祉に係る予算

日常生活の介護やグループホーム、就労機会の提供や能力訓練にかかる経費のほか、就学後の児童を対象とした放課後等デイサービスの利用増加などにより引き続き増加しています。

高齢者福祉に係る予算

介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金が増加しています。介護予防の推進など介護給付費の抑制に取り組むほか、認知症への対策、健康づくりへの取り組み充実など引き続き「健康まちづくり」の取り組みを推進していきます。

児童福祉に係る予算

待機児童対策として、保育所等の新規開設や定員の拡大を伴う移転開設を行ったことにより、子どものための保育給付費や保育所等への運営費補助などが増加しています。また、学童クラブを増設したことによる委託費の増加なども増加要因となっています。

生活保護に係る予算

当初予算比では令和2年度から減となっていますが、令和2年度の決算見込みと比較すると、令和3年度の生活保護費は約1億円の増となります。近年ほぼ横ばいであった被保護世帯数は増加傾向となっています。